

日欧EPA (2017/7/10)

[Campaign Preview](#)

[HTML Source](#)

[Plain-Text Email](#)

[Details](#)

海外展開に関心を持つ方々に有益な情報をお届けします。

[View this email in your browser](#)

サードフォース株式会社 メールマガジン #7 2017-7-7

各位

以下に、弊社メールマガジン第7回を発信致します。

日本と欧州連合（EU）は7月6日に経済連携協定（EPA）の締結で大枠合意しました。

日本では、自動車・自動車部品などの輸出増が期待され、チーズやワインなどの価格が引き下げが期待される一方で、国内農業・食品産業では懸念の声が上がっています。

本合意に関する海外における受け止め、日本と欧州との貿易の状況、本合意の意味合いについて簡潔にご案内します。

1. 欧米主要紙は本合意を前向きに報道

主な論点：

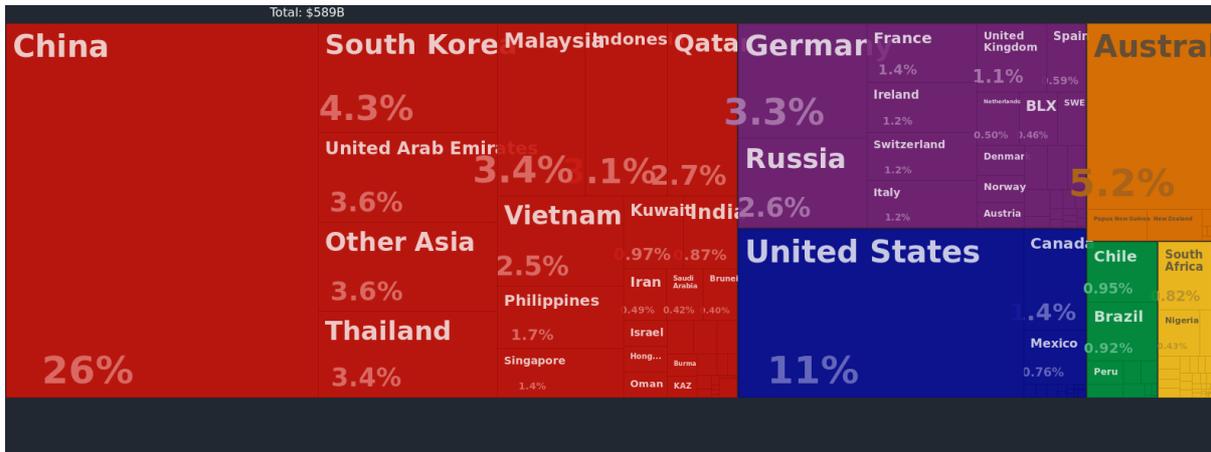
- 自由貿易の推進に向けた新たな転換点：
 - 本合意が保護主義的な風潮を打破し、自由貿易を推進する世界の新しい流れとなることを期待
 - 欧州の特に農産・食品産業の雇用増加と経済発展への寄与が期待される
- EU離脱を決めた英国にとってリスク
 - 本EPAは英国がEUを離脱する予定の2019年に発効する予定で、英国はその対象から外れてしまう可能性があり、英国に進出する日系産業の戦略にも影響を与える可能性
 - EUを離脱して各国と二国間貿易協定を結ぶ方が経済発展に寄与するというEU離脱メリットが揺らぐ可能性も
- TPPを離脱した米国に対するプレッシャー
 - 保護的貿易を主張するトランプ大統領にとって、米国以外の世界が引き続き自由貿易を推進し続

けることが明らかになった点で大きなインパクトとなり、より国際協調的な考え方に転換する材料となることが期待される

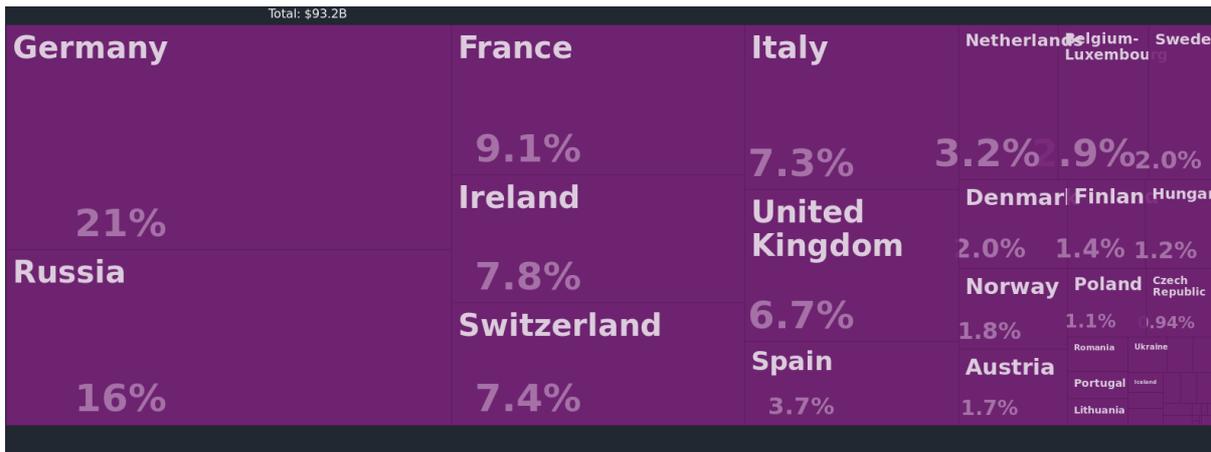
2. 欧州との貿易 - 日本への輸入・日本からの輸出

日本への輸入における、国別シェア（出所：以下全てThe Observatory of Economic Complexity）

日本への輸入に占める欧州のシェアは、ロシアを含めて16%と、アジア、北米よりも存在感は小さい



日本への輸入における、欧州の国別シェアでは、ドイツが最大、ロシア、フランス、アイルランドが続く



日本からの輸出における、国別シェア

欧州への輸出は、14%



自動車をはじめとする工業製品でも、欧州への輸出は比較的限制的。例えばドイツ・ミュンヘン近郊では日本車は殆ど走っていない。

食品については、ラーメンなど日本食への認知が高まっているが、日本で日本食ブームと言われているほど欧州で日本食が人気化しているとは考えにくい。

本EPAの日本企業にとっての意義は、関税率の引き下げによる直接的な競争力の強化に加えて、大市場であっても縁遠かった欧州市場がより身近になることである。

どうやって輸出拡大に結びつけるか

保守的で成熟市場であり、地理的にも分散したEUへの輸出拡大はすぐに実現できるものではなく、着実に地道な営業努力が必要となる。

- 中小企業はもとより体力の大きい中堅・大企業にとっても、単独で効果的な販路拡大を行うことは容易ではない
- 現地ニーズに関する情報提供、優れた製品を現地に売り込む営業活動、物流機能について、輸出活動を促進する効果的な枠組みが必要
- 企業グループや業界や地域による緩やかな連帯を通じて、EU市場のニーズを調査・共有し、日本企業と結びつける枠組みを作り、展示会や商談会といった場の提供に加えて、ニーズと製品を結びつける効果的なマッチングを行うことが望ましい
- この点において政府・自治体による支援・補助も期待される

配信した内容についてご質問がある方は、support@third-force.com又は弊社ウェブサイトまでご連絡頂けますようお願い致します。海外展開に向けたご支援にご興味がある方も、お気軽にご連絡頂ければ幸いです。

皆様のお知り合いやご同業の方で本テーマに付きご関心をお持ち頂ける方がいらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介・ご登録頂ければ幸いです。



弊社ウェブサイト：

<https://sites.google.com/a/third-force.com/home/>

お問い合わせ：

<https://sites.google.com/a/third-force.com/home/inquiries>

重要事項

- 内容については、万全を期しておりますが、その内容の正確性を保証するものではありません。また、当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても発行人は一切の責任を負いません。
- 本メールマガジンの本文・データ等の著作権は、発行人に帰属します。
- 無断転載禁止。

※このメールは、お名刺の交換、弊社へのお問い合わせ、また弊社のメールマガジンご登録頂いた方へ、ご参考となる情報をご提供させて頂く事を目的としています。メルマガの配信停止をご希望の方は、大変お手数ですが、お手数ですがメール末尾の"unsubscribe"からご登録を解除頂ければ幸いです。

今後共、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

発行人

サードフォース株式会社

代表取締役 秋田 哲宏

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目2番5号 共同通信会館2階

携帯 090-2671-0849 / 固定電話 03-3583-0903 / Fax 03-6411-6254

e-mail : tetsuhiroakita@third-force.com

URL : <https://sites.google.com/a/third-force.com/home/>



Copyright © 2016 サードフォース株式会社
All rights reserved.

Our mailing address is:
support@third-force.com

Want to change how you receive these emails?
You can [update your preferences](#) or [unsubscribe from this list](#)

This email was sent to << Test Email Address >>

[why did I get this?](#) [unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)

サードフォース株式会社・虎ノ門2-2-5・共同通信ビル2階・港区, 東京都 105-0001・Japan

MailChimp